

2026年 6月 12日

綜研化学株式会社

狭山事業所へカーボンオフセット都市ガスを導入

－ ガス燃焼によるCO₂排出量100%を相殺－

綜研化学株式会社(本社:東京都豊島区、代表取締役 社長執行役員:富田 幸二)は、2026年4月1日より、狭山事業所(埼玉県狭山市)で使用する燃料として、カーボンオフセット都市ガスを導入しました。本取り組みは、武州ガス株式会社(本社:埼玉県川越市、社長:原 爽也)を通じて実施しています。今後とも、当社は、持続可能な社会の実現に向けて、サステナビリティ経営の推進してまいります。

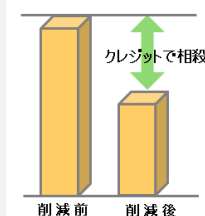
● 導入の背景

当社は、省エネ活動により使用するエネルギー量の削減に継続的に取り組むとともに、再生可能エネルギーの積極的な導入等により、CO₂排出量の削減に努めています。

これらの取り組みによってもCO₂排出が避けられないものについては、適切なオフセット(相殺)を行う必要があると認識しています。今回導入したカーボンオフセット都市ガスは、官公庁で運営する「J-クレジット制度」を採用しており、都市ガスの使用に伴って発生するCO₂排出量をオフセットすることで、CO₂排出量を実質ゼロとする取り組みです。

カーボンオフセットとは？

削減努力の結果、どうしても削減することのできないCO₂を他の場所の排出削減・吸収量で相殺(オフセット)すること



● 導入の効果

今回導入したカーボンオフセット都市ガスにより、狭山事業所において都市ガスの燃焼に伴って発生するCO₂排出量約378トン/年(2025年度実績)をオフセットする見込みです。これは、当社の狭山事業所における都市ガスの燃焼に伴って発生するCO₂排出量の100%に相当し、環境負荷の低減に貢献するものです。

※都市ガス1千m³あたりのCO₂排出量を2.09トンとし、2025年度実績値より算出

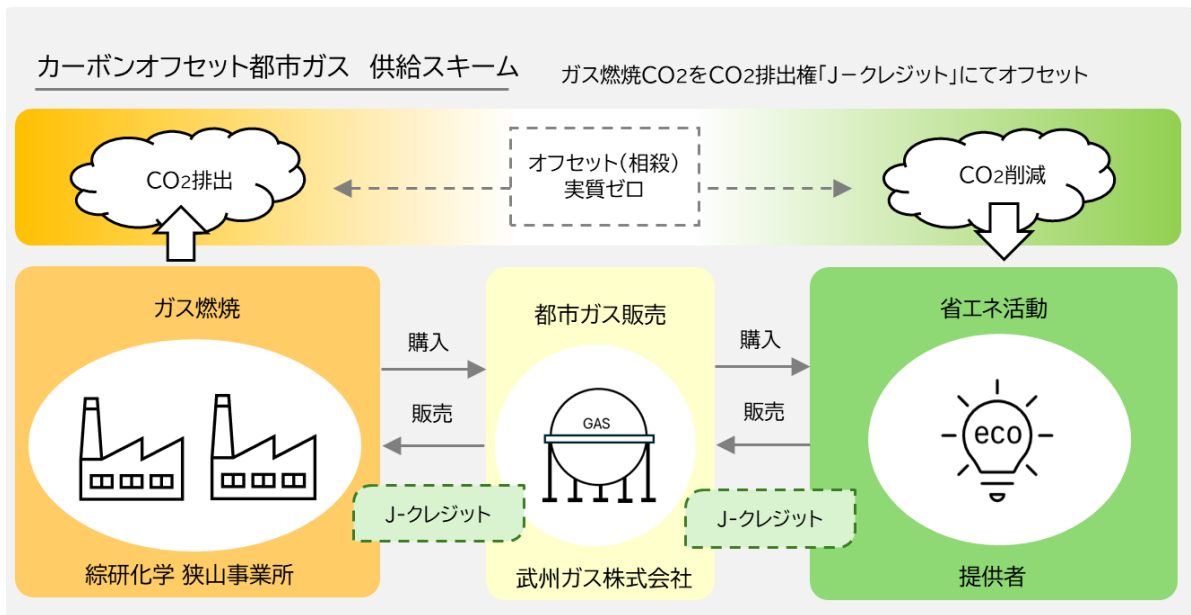
● カーボンオフセット都市ガスとは

カーボンオフセット都市ガスとは、燃焼により排出されるCO₂量を、省エネルギー設備の導入などによって削減されたCO₂量でオフセットする仕組みを持つ都市ガスを指します。通常の都市ガスと同様に使用できる一方で、ガス使用量から算出したCO₂排出に相当するカーボンクレジットを取得・活用し、実質的なCO₂排出量をゼロに近づけることができます。

2026年 6月 12日
 綜研化学株式会社

● カーボンオフセット都市ガス 供給スキーム

当社では、武州ガス株式会社を通じて、環境省・経済産業省・農林水産省が共同で運営する「J-クレジット制度」を活用し、信頼性の高いカーボンクレジットを用いてオフセットを実施しています。J-クレジット制度は、国内で創出されたCO₂削減・吸収量を「クレジット(価値)」として認証・取引できる制度であり、企業の温室効果ガス排出削減への取り組みを可視化・数値化する手段として広く利用されています。



本件に関するお問い合わせ先

綜研化学株式会社 〒171-8531 東京都豊島区高田3-29-5

サステナビリティについて
 サステナビリティ推進部
 TEL : 04-2952-9802

報道関係者のお問い合わせ

IR・広報室
 TEL : 03-3983-3268

E-Mail : investor.b5p.relations@sokenchem.com